

## 令和2年産大豆の放射性物質検査の結果について(第2報)

### 【要旨】

- 令和2年産大豆の放射性物質検査計画に基づき、4検体について検査を実施し、以下の結果となりました。

### 検査結果一覧

No.	生産地	検体作成日	測定値(単位: Bq/kg)		
			放射性セシウム		
			Cs-134	Cs-137	計
1	一関市	11月27日	不検出 (<1.4)	不検出 (<1.4)	不検出 (<2.8)
2	盛岡市	12月4日	不検出 (<1.6)	不検出 (<1.5)	不検出 (<3.1)
3	矢巾町	12月4日	不検出 (<1.6)	不検出 (<1.5)	不検出 (<3.1)
4	金ケ崎町	12月11日	不検出 (<1.4)	不検出 (<2.0)	不検出 (<3.4)

(参考) 食品衛生法上の基準値(一般食品)放射性セシウム(Cs-134とCs-137の計): 100Bq/kg

(注1) 「測定値」欄の( )内は検出限界値

(「検出限界」は、測定において放射性物質を検出できる最小値のことです。放射性物質の特性として、同じ機器による測定でも検体ごとに検出限界値は変動します)

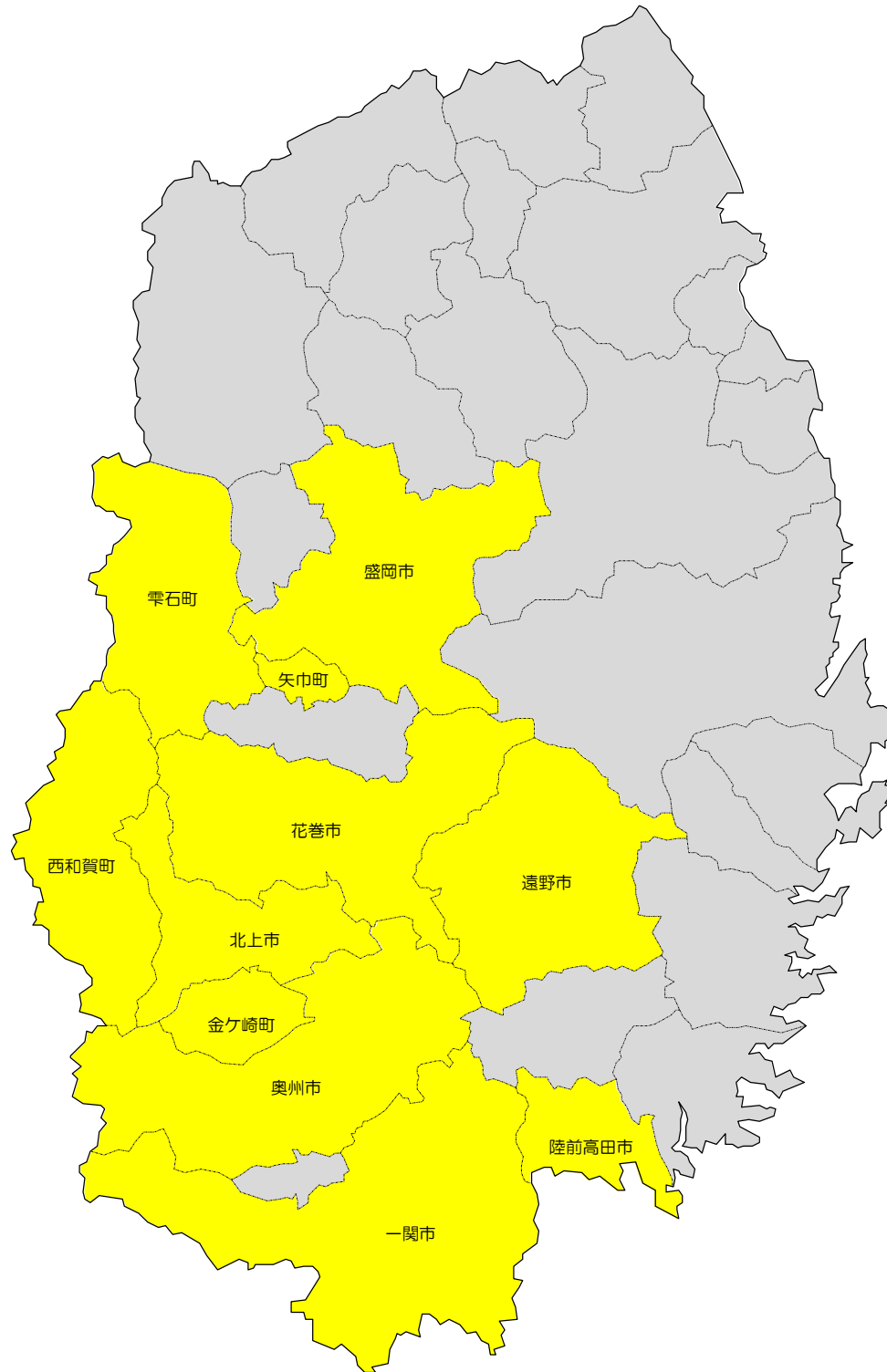
(注2) 検査機関: (一財)新潟県環境分析センター

(注3) 測定機器: ゲルマニウム半導体検出器

担当: 農産園芸課 水田農業担当 多田

Tel 019-629-5710 Fax 019-651-7172

【参考】令和2年産大豆の放射性物質検査の実施状況



- 検査実施済み市町村
- 検査を実施しない市町村

※ 令和2年度は検査結果判明前の出荷自粛は実施していません。